

## 第 21 回岩手県食の安全安心委員会議事録

### 1 開催日時及び場所

令和元年6月4日(火) 10時30分から11時55分 岩手県立県民生活センター大ホール

### 2 出席者の氏名

#### (1) 委員

石橋百合子委員、磯田朋子委員、佐藤康子委員、松岡千賀子委員、三好なお子委員、大石祥子委員、後藤和彦委員、佐々木安彦委員、佐竹雅之委員、高橋憲雄委員、田村清記委員、照井勝也委員、名郷根久美委員、佐藤至委員、菅原悦子委員、菅原仁委員、寺嶋淳委員

#### (2) 関係室課等

中瀬雅英総合防災室主任主査、戸塚教仁学事振興課主査、川村守環境生活企画室放射線影響対策課長、池田享司資源循環推進課主任主査、高橋省一若者女性協働推進室主査、吉田有里健康国保課医務主幹、互野裕子健康国保課主任主査、高橋正志子ども子育て支援課子ども家庭担当課長、佐々木真澄産業経済交流課主事、関慶久農林水産企画室主任主査、沼田芳宏流通課主査、田口礼人農業振興課技師、菅広和農業普及技術課主査、菅野千聖農業普及技術課技師、山田修農産園芸課主任主査、村上隆宏畜産課特命参事兼振興・衛生課長、佐々木悠佳畜産課主査、小野寺宗仲水産振興課主査、根澤倫子保健体育課指導主事、岩淵忠徳生涯学習文化財課社会教育主事、高橋知子環境保健研究センター保健科学部長、五日市恵里環境保健研究センター首席専門研究員兼衛生科学部長、武田顕県民生活センター主任主査

#### (3) 事務局

大友宏司環境生活部長、小島純環境生活副部長、田村輝彦環境担当技監、坊良英樹県民くらしの安全課総括課長、佐藤敦食の安全安心課長、千葉正主任主査、富手千秋主査、築田尚美主査、伊藤菜々技師

### 3 議事の概要

#### (1) 開会

#### (2) あいさつ

大友環境生活部長があいさつを述べた。

#### (3) 議事

ア 平成30年度における食の安全安心の確保のための施策評価について

##### 【主な意見等】

- 菅原悦子委員長 主要指標Ⅰの4の「自然環境の保全に資する農業の生産方式を導入した農地面積」の未達成の説明について、来年度は、今後の対応に記載されている取組みを行えば、目標を達成できると考えているのか。
- 菅広和農業普及技術課主査 令和元年度の目標は5,500haとしているが、近年取組面

積が頭打ち傾向であるという実状もある。現状を踏まえつつ、少しでも多くの方々が取り組めるように支援をしていきたいと考えている。

- **菅原悦子委員長** 現段階では、達成できない可能性があるということか。委員としては、目標を達成する取組みについて発言していただきたいところだが、今の発言はどう解釈したらよいか。
- **菅広和農業普及技術課主査** 目標達成に向けて取り組んで行きたいと考えてはいるが、実状としては、目標に届かない可能性もあると考えている。
- **菅原悦子委員長** 目標の立て方自体に問題があったということを認めるということか。
- **菅広和農業普及技術課主査** 当初計画を立てた当時は、毎年 500 ha ずつ伸びるであろうという見込みであったが、現状達成できていないということは、設定時に多少の見込みが甘かった部分もあるかと考えている。
- **菅原仁委員** 今の件に関連して、農地の面積は岩手県内にどのくらいあり、目標値については、今年度は 5,500 ha のようだが、作物は米、野菜などと決まっているのか、一緒くたになっているのか、それぞれ分けて積算しての 5,500 ha なのか、教えていただきたい。
- **菅広和農業普及技術課主査** 目標値の作物毎の内訳については、資料を持ち合わせていないので、後程回答したい。取組実施面積がどういった作物で取り組まれているのかは、把握しているのでそちらも併せて回答したい。
- **菅原仁委員** いろいろあるということか。
- **菅広和農業普及技術課主査** 仰るとおり。稲、野菜、果樹であるりんごなど様々な作物で取り組まれている。
- **菅原仁委員** 作物ごとに、天候不順による病害虫の発生などがあると、例えば米が打撃を受けてやむを得ず農薬を散布したとか、りんごが規定の回数を上回ってしまったとか、いろいろな事情があるかと思うが、その辺りについて、なるほどと納得のいく詳しい説明をお願いしたい。これは要望である。
- **名郷根久美委員** オガール紫波の農産物直売所でも 300 弱の農家に協力をいただいている。計算に入っている有機農業の取組みを行っている農家というのは、ある程度大きい農家だけなのか、小さい農家でも各自手を挙げた農家が入っているのか。どういう足し算をしてこの数字になるのか、対象者がどういった方なのかを確認をしたい。
- **菅広和農業普及技術課主査** 実績の面積については、環境保全型農業直接支払交付金を国から受けて取り組んでいる方の面積を足し算したものとなっている。従って、環境にやさしい農業を行っているという農家、例えば、エコファーマー認定を受けているという方もいるが実績の積算には入っていない。
- **照井勝也委員** 資料を見て、定義が少しずれている気がしていた。評価の欄に有機農業と記載しているが、化学肥料、化学農薬を低減する取組みを有機農業とは称さないことから、その辺りの整理をした方が良いのではないかと検討したい。
- **菅広和農業普及技術課主査** 御指摘感謝する。有機農業という言葉については、環境保全型農業直接支払交付金の対象取組の中で、有機農業の取組みという項目があり、そ

ちらの事例ということで記載している。当該交付金の対象取組は、様々あり、事例として記載したものが、たまたま有機農業の取組であったということで、御理解願いたい。

- **菅原悦子委員長** 有機農業の定義について一般的な整理と本日の資料に記載されている整理が異なるということのようだ。
- **菅原悦子委員長** 平成30年度の施策評価ということは、食の安全安心推進計画の5年間の中間評価となる。今年度、来年度で、次の計画の目標達成に向けて新しい取組を行うことになるので、少なくとも今年度未達成の項目については、是非しっかりとした評価を行わなければ、次の計画策定において困ることになると考える。食の安全安心推進計画の目標は、達成して当然の目標になっていると認識しているので、未達成ということは、それなりの対策を立てる必要があると考える。今年度の取組みについては、しっかりと考えて取り組んでいただきたい。次の計画に向かって、より良い施策がたてられるよう、よろしくお願ひしたい。

## イ 平成30年度における取組実績について

### (ア) 岩手県食の安全安心推進計画

#### 【主な意見等】

- **石橋百合子委員** 資料3-1、3ページの食品表示ウォッチャーについて、報告件数206件とあるが、問題があった件数なのか、無かったものも含めた件数なのか、ここで問題があったときは、どのような対応を行っているのか教えていただきたい。
- **佐藤敦食の安全安心課長** 食品表示ウォッチャーの活動の関係だが、206件報告があった中で、問題があるのではないかという件数は12件だった。実際、そのうち8件については不適正であるということで、保健所と一緒に対応し、調査、指導を行い、改善されたということで完結済みとなっている。
- **菅原悦子委員長** 県においていろいろな取組みを行っており、取組みに関してアンケートを行っているが、実績報告については、何回実施し、何人参加したとの記載がいつも多い。実際参加した人の意識がどのように変わったのかなど、もう少し、実施した内容の効果についても検証していただきたいといつも思っている。今回改めてリスクコミュニケーションの中で講座型のものを行っているが、委員会において行っていただきたいと言ってそのような方向へ移って来ている。実際に参加して意識が変わるような仕組みを作っていないと、ただただ、イベントを実施したということだけでは、食の安全安心が県民へ浸透するのは難しいということは分かっていると思う。今後は、このようなことを行った結果このようになりました、という内容も含め実績報告をお願いしたい。

### (イ) 岩手県食育推進計画

#### 【主な意見等】

- **後藤和彦委員** 3月まで全農いわての畜産にいたが、食育に関して去年の9月に全国の集まりがあり、松戸市の課長が来られて、子ども食堂の話がされた。内容を聞いたところショッキングで、日本は先進国の中では、二十何位という後ろの順位であり、相対

的貧困層という層が 16%もあるということであった。母親又は父親が一人で子供を育てているため、朝から晩まで働いて、ろくに夜ご飯もきちんとしたものが食べられないとのことで、地域の多分、町内会長とかそのような方が主体となっているかと思うが、月に1回、月に2回ぐらいは、きちんと子ども達にも質の良い食事をさせたいという活動で、全国で今 2,300 箇所位、子ども食堂があると聞いた。岩手にはどれ位あるか分からないが、それを受けて、話を聞いたところ、実家で米を作っている、自分で家庭菜園をしているからと食材を持ち寄っているが、肉が集まらないとのことだった。岩手県も畜産県であることから、持ち帰って岩手県の振興会の役員会で、是非取り組みする価値があると話をした。特に肉は、豚をそのままというわけにもいかない。いわちくで屠畜して、肉にして、誰かが供給しなければならない。そのような仕組みが出来ないか、全農の中でも話はしたが、個別にやっても進まない。社会福祉協議会が、連携するというような取り組みをしていると聞いた。チキン協同組合、採卵鶏、養豚でもそうだが、1箇所にも 5kg、10kg 提供しても連携した取り組みとはならないので、是非そのような仕組み作りをして欲しいという話をされて、何とかならないものかと思っていた。まさに食育に関わる。松戸の課長の話を聞くと、今の貧困層とされる子ども達は、痩せていない。炭水化物だけを食べているから、バランスが悪く肥満傾向が多いということになっている。そのようなことから、手を付ける必要があると強く思ったので、皆さんでやっていただければということ発言させていただいた。

- **高橋正志子ども子育て支援課子ども家庭担当課長** 県内で子ども食堂は、直近5月で、16市町で31箇所運営している。今年度に入って1箇所増えたと聞いている。県内でも子ども食堂の取り組みは進んできており、昨年5月にNPO法人インクルいわてが事務局となり、県内で子ども食堂に取り組んでいる団体のネットワーク、子どもの居場所ネットワークいわてというネットワーク事業を立ち上げた。昨年立ち上げた段階で12団体だったが、今年5月の末に総会を行ったところ、これから始めたいという団体を含め22団体となった。そういった中でネットワーク作りが始まっていることから、食材を提供していただければということであれば、ネットワークを通じて情報提供いただければ、各団体に情報が伝わる。一緒に進めていただければありがたい。
- **菅原悦子委員長** 資料4-3、9ページに子ども食堂への支援という項目が記載されている。この会議も全く関係がないと思っているわけではなく、話し合いも行われている。前の計画を立てた時には、まだ子ども食堂は無かったが、この3年の間に社会の中でも大きな活動となり、方向性が見えてきているため、子ども食堂についても取り組まなければならないのではないかとということで、取り組みにいられていただいている。食の安全安心委員会に関連する食育ネットワークの総会でもNPO法人インクルいわての山屋さんをおよびして勉強会を行っており、一緒に取り組みを行っていきましょうということで話し合いも始まっているところである。まさに良い御意見をいただいた。
- **磯田朋子委員** 資料4-2、3ページの参考指標のところだが、学校給食における県産と国産の利用割合が記載されており、少しずつ割合が下がってきているようだが、輸入食品の増加傾向がある中で、どのように県産の食材を利用していくのかということが難

しくなってくるのではないかと思っている。参考指標のようだが、県産食材を使う割合について、数値が掲げられているものなのか、今後そのように利用が難しくなっていく中で、利用割合をどうやって維持していくのか考えを教えてください。

- **菅原悦子委員長** 平成 29 年実績が記載されていない理由も含めて回答願いたい。
- **沼田芳宏流通課主査** 学校給食における県産食材の利用実態調査については、2 年に 1 回調査している。最後の調査である平成 30 年度については、現在取りまとめ中ということで、今年度の秋頃にとりまとめ予定となっていることから、後ほど調査結果を提供させていただきたい。目標については、具体的な資料を持ち合わせていないので、後程回答したい。
- **菅原悦子委員長** 現状値が 40%でこれを下回らないようにという目標だったかと記憶しているが、それがどうなっているのか見えない。平成 30 年度の調査について結果が出た後、それを踏まえて、今後、利用割合をどのように維持していくのかについても併せて回答いただけるということでしょうか。
- **大石祥子委員** 基本物資の値上がりは、すごくボディブローのように効いてくる。米の価格、毎日使う牛乳の価格、そういった物、米は 11 月に値上がりしたし、牛乳は毎年毎年少しずつ値上がりしている。給食費を毎年値上げするわけにはいかないため、学校でのやりくりは大変である。
- **名郷根久美委員** 資料 4-1、朝食を毎日食べる子どもの割合のところだが、平成 26 年の基準年度よりも、すべての学年において数値が下がっているということだが、下がった理由は何か分かっているのか。例えば、家庭環境が変わってというか、社会の情勢が変わっていて、働く母親が増えており、働く時間も変わっていて、昔のように母親が必ず朝居て朝御飯を作るという時間を持ってないということなのか、それとも、深夜遅くまで起きていて、朝起きられなくて食べられないのか。先ほどの子ども食堂の話にもあったが、貧困だけではない要素があるのかと思うが、数値の中で何故食べられなかったかという確認があるのか確認したい。
- **互野裕子健康国保課主任主査** 食育推進計画の指標とともに、県で推進している健康増進計画の中でも、朝食の欠食率という指標を設けている。指標については、平成 16 年度、環境保健研究センターが設置された折から、協力していただける、小学校、中学校、高等学校の生徒を対象として、朝食の欠食率について毎年モニタリングを行っているところである。指標については、健康国保課で所管しているが、それを改善するための術となると、実際、小学校、中学校、高等学校においていろいろ食育推進計画に基づいた取組みをしていることから、そちらから話を加えていただきたい。健康国保課としては、健康増進計画のサポートの中で、保健所や市町村を拠点として、学校子どもさん方親御さん方の中に、ニーズがあった際に出前講座を行うなど、正しい知識の普及を行っている。また、一方で、地域の中の食生活改善推進員という団体についても健康国保課で所管しているが、なかなか学校の中という手の届かない部分については、保健体育課において、親子の食育教室など、そういったものを行っていることから、補足の発言をお願いしたい。

- **根澤倫子保健体育課指導主事** 学校における食育の実施についてだが、朝食については、栄養教諭が中核となって進めているところである。各学年各段階に合わせての指導があるが、その中でアンケートを取っている。自分の個人的な主観が入っている可能性があるが、食べていないか、又は、たまに食べないという傾向がある。毎日食べない生徒は決まってきている傾向にある。親にも、食べる習慣がないなどがあるため、親にも啓発を図る必要があると考え、給食日よりや様々なお便り、食育講演会などを企画して、情報を発信しているところである。
- **菅原悦子委員長** 一生懸命取り組んでいるが数値は改善されないということを言いたいのかと思う。
- **名郷根久美委員** 親について、食べない習慣の方も増えてきているということか。
- **根澤倫子保健体育課指導主事** 毎日食べない子供が決まっている傾向はあったと記憶している。
- **石橋百合子委員** 確認だが、朝食をとらない子どもに、取らなかった理由は聞いていないということによいか。
- **互野裕子健康国保課主任主査** 朝食をとらない子どもに、取らなかった理由は聞いていない。殆ど毎日食べる、週に2、3回欠食、週に4、5回欠食というように幾つか項目があるが、毎日食べる方だけを朝食摂食者としている。それ以外は、欠食者として扱った集計をしている。調査を始める前の平成15年度は、基準年度より10%以上低かった。ここまで、努力で摂食率を上げてきたと捉えてもよいかと思う。ただし、学年が上がるに連れて、欠食者が増えていくことに関しては、手立てを強化する必要があると考える。
- **松岡千賀子委員** 地産地消促進計画について、市町村毎にはなるかと思うが、学校給食に食材を提供するだけではなく、他に何か行政毎で給食以外の取り組みを行っているところがあれば教えていただきたい。
- **沼田芳宏流通課主査** 地産地消促進計画について、手元に具体の資料を持ち合わせていないので、事例として、特徴的なことに関しては改めてこの会などで紹介させていただきたい。法律で、各市町村において地産地消促進計画を策定することに努めるということで、現時点で27市町村が策定している。計画には、各市町村の地産地消に関する基本的な考え方、具体的な取組み方針について定めることになっていることから、夫々の取組みで特徴的な部分を抜粋して改めて回答したい。
- **三好なお子委員** 朝食の件は、学校からのアンケートがPTAにあるが、確かに理由を書く項目が無い。食べますか、はい、いいえだけで、数字のみであるので、今後理由を書く項目もあれば良いと思った。学校側に言うことであると思っている。学年が上がるにつれて食べなくなるのは、夜遅くなるなどの理由もあるかと思う。子ども達はすごく忙しく、朝起きられないことがあるのかと思っていたが、子どもがどういう理由で食べられないのかは聞きたいと思ったので、理由を書く項目があれば良いと考える。
- **菅原悦子委員長** 食育に関して、岩手県の朝食の摂食率は高いと思っているが、平成26年度に摂食率をここまで上げたにも関わらず、下がるということについては、非常に残念

という思いがある。現在、計画は3期目であり、1期目、2期目は皆がすごく頑張りここまで摂食率を上げたと思うが、そこまで来て頭打ちとなり、全体として食育の取組みもマンネリ化し、低下傾向にあるのではないかと懸念しており、残念に思う。次の新しい計画に向かい、一体何をどうすれば、より良い状況になるのか、是非、新しい考え方、企画を考えていただき、少なくとも現状維持となるように、食育に関わるここに居るメンバー全員で考えていかなければならないと改めて思っている。次期の子どもたちのために皆で真剣に考えて行く必要があると思うのでよろしくお願いする。

#### ウ その他

特になし

#### (4) 閉会